

士別市まちづくり懇談会（中央地区） いただいたご意見

■日時：令和7年7月28日 午後6時から

■会場：市民文化センター研修室

■市参加者：渡辺市長、泉山教育長、大橋総務部長、三上市民部長、東川健康福祉部長、坂本経済部長、藪中建設環境部長、丸生涯学習部長、池田経営管理部長、増田企画課長、久光企画課管理監、萩田企画課副長、企画課職員

■市民参加人数：23人

（1）総合計画の基本的な考え方について【資料1】

■ご意見1

- ・総合計画の現状については理解した。しかし、具体的な考え方や数字の記載がないため、何を質問して良いかが分からない。

■回答1

- ・本日の説明では、市の1次集約について報告させていただいた。計画の成案に向けては基本施策ごとに取り組みを規定する。次回のまちづくり懇談会ではお示しする。

■ご意見2

- ・士別市がどこに向かっているか分からない。基本施策をいつまでにどの程度の内容でまとめて市民へ説明する予定か。施設を廃止するばかりだけで、新しい話がない。

■回答2

- ・関係団体との意見交換やまちづくり懇談会を開催してきたほか、市民アンケートや意見交換を踏まえて、今後のあるべき姿を協議してきた。みなさんと共により良い総合計画を策定したい。11月には具体事項や事業の一部をお示しし、意見交換の場を設ける。

■ご意見3

- ・総合計画について庁内の協議状況は。今後8年間でどのようなまちをイメージされているか教えていただきたい。

■回答3

- ・めざすまちの将来目標として5本掲げている。地域の魅力でにぎわうまちづくりなど目標設定をしており、関連の施策を推進する。人口減少対策にも注力したい。

■ご意見 4

- ・基本施策の地域づくりについて、市民との意見交換の状況は。前地区別計画は8地区だったが、中央地区の魅力が今回は掲載されていない。

■回答 4

- ・地区別計画は、5月に全自治会へ検証を依頼した。結果、1地区からワークショップの要請があり、行政と地域と協議させていただいた。中央地区にも多くの魅力があることについては承知している。2月のまちづくり懇談会において、中央地区を複数に分断すべきでないとの意見もあり、全地区の課題を一つにまとめて行政として支援の考え方を記載した。また、中央地区でこれまで取り組んできた内容は、これまでの実績等において掲載した。さらに追加すべき事項があればご意見を受ける。

■ご意見 5

- ・市立病院の在り方について検討が進められている。名寄市立大学が中心となって、上川北部の住民意見を聞いたアンケートが行われた。この結果についても合わせて検討材料としていただきたい。

■回答 5

- ・大規模アンケートが名寄市立大学において実施されたことは承知している。上川北部において高齢化が進んでいることから、終末期に特化したアンケートとして実施されたと聞いている。市立病院では市民の意見を反映させるため市民委員会を組織している。市民アンケートを実施したほか、9月にはワークショップを予定している。今回実施された終末期のアンケートについても、委員会において報告したい。

(2) 持続的なまちづくりについて【資料2】

■ご意見 1

- ・天塩川パークゴルフ場の利用度合いに着目していただきたい。利用が少ない施設について、廃止や休止することは理解する。今回の対象施設の中で一番利用が多い。シニアパークゴルフ大会の例会を年に10回開催している。あと3・4年、廃止年次を伸ばしていただきたい。パークゴルフ場を造るときに市に芝を買ってもらい、グリーンなどは協会役員が出面協力して整備した大切な会場。

■回答 1

- ・2月のまちづくり懇談会でもご意見をいただいた。また、協会と意見交換を重ねてきた結果を説明させていただいた。同PG場を利用されている方がいることは理解している。市内には公共整備のパークゴルフ場を81ホール所有している。協会と人口減に合わせて18ホール減に向けた意見交換を重ねてきたが、不動大橋パークゴルフ場を36ホール残す方向で協議してきた結果となり、方針についてご理解いただきたい。

■ご意見 2

- 予算が無いため維持できないのであれば、トイレを1箇所に集約、草刈りを月1回にするなど経費節減の方法を考えてほしい。

■ご意見 3

- 「の～む」の協議回数は他施設と比較して3回と少ない。最後の協議には渡辺市長が直接出席されたのか。他の施設での協議には市長が出ているのか。人口減少が進むなかで公共施設を無くす決断をされたのは市長。「の～む」の廃止を1年伸ばしたのは理解しづらい。

■回答 3

- 「の～む」の協議では、3回目に市長が出席した。全施設の協議について、各部とは常に情報共有をしている。市長が協議に出席した方が良くと各部から説明があった場合については、市長が出席している。「の～む」の施設統合の協議のなかで「の～む」が無くなれば、加工体験そのものをやめると意見があった。
- そのため、朝日の施設をまずは1年間の中で利用いただき、交通手段なども1年間かけて協議したいと行政から提案した。ただし、「の～む」で機器やボイラー等が壊れた場合は、加工品目の制限をしたり早期に施設を休止したりする場合があることを理解をいただいた。
- 一方、あさひスキー場は安全面から1年間伸ばすという結論にはならない。パークゴルフ場は、有料と無料の違いはあるがパークゴルフ場のコースが減ることでプレーできなくなるということではない。協会とも不動大橋パークゴルフ場のコースを減らして天塩川パークゴルフ場を維持するなどの折衷案を協議したが、協会としては不動大橋を36ホール残す結論に至った。

■ご意見 4

- スポーツ合宿などで外貨を稼ぐ、市内へ還元させるなどの合宿誘致に向けてこれまでの努力を伺いたい。旅館などの受入対策について協議はどうか。また、ふるさと納税の収入の使い方なども公平に使うのではなく、特産品開発など特化した事項に選択と集中で振り分けるべき。羊や合宿、自動車等試験研究など、外貨を稼ぐ手法を研究して外へ発信すべき。まちの意見を職員が出向いて聞き、案をまとめて庁内で協議するのが望ましい。

■回答 4

- 外貨を稼ぐため、新型コロナ以降に市長のトップセールスを実施してきた。ニューイヤ一駅伝やクイーンズ駅伝など、各監督と懇談したり、新規チームの誘致に向けて士別市ができることを伺ったほか、士別市のふるさと納税をPRしてきた。
- 合宿や企業誘致の受入に向けて、旅館の事業承継も課題となっている。官民連携しながら取り組みを継続したい。ビジネスホテルの誘致は実現に至らなかった。

- ・本市でもふるさと納税の寄附額・件数が伸びている。情報発信やパッケージなど改善を加えながら士別市の魅力をPRしている。ふるさと納税の使い方などはご意見を参考とさせていただく。
- ・また、世界のめん羊館について魅力を高めることができるのか、施設の在り方をどうするべきかを関係団体と意見交換したい。観光振興計画も本年度に策定を進めていることから、具体的な取り組みを構築する。

■ご意見 5

- ・施設廃止の前提として財政健全化の視点がある。施設を廃止する際には、市民が納得できるよう、施設の維持にどの程度費用がかかっているかを数字で示していただきたい。廃止時の効果額も見せるべき。8年度後の市の財政は総合計画においてどう示されるか。
- ・事業の案として、例えば、出生されたら1人100万円をお祝い金として贈呈する。また、空家対策として取り壊し費用に100万円を助成してはどうか。11月のまちづくり懇談会における総合計画の説明を期待する。

■回答 5

- ・総合計画は議会の議決が必要なため、11月に市民へ説明して意見交換を行い、8年間の財政の見通しなども示す考え。朝日中学校の義務教育学校に向けた検討や総合体育館なども施設の在り方を検討しているので、方針なども示したい。本市の財政については、基金を取り崩しながら、一般会計の予算を組んでいる状況。さらに除雪費は9月の議会で基金を財源に補正する予定。現実には、財政が厳しい状況が続く見込み。

■ご意見 6

- ・つくもスケート場、カーリング場、天塩川パークゴルフ場は公共施設マネジメント基本計画の対象施設なのか。また、いつ該当施設になったのか。カーリング協会がスポーツ課と協議が始まったのは令和6年2月であり、公共施設の最適化が公表されるまで時間を要している。
- ・団体（協会）との協議を急いでいるように感じており、担当課の職員にも負担がかかっている。本来協議に必要だったと想定される時間を、私たちとの協議に再度与えてほしい。団体内部でも会員の合意点を見出すため、時間が必要。

■回答 6

- ・公共施設マネジメント基本計画は、人口減少などに対応するため全体の公共施設の延べ床面積を20%削減する考え。建物を有する施設を含めて、全体の公共施設の管理として考えている。
- ・公共施設の在り方を協議する庁内組織は、令和5年6月に組織した。令和6年11月に公表した施設の取り扱いを協議してきているほか、令和7年2月にまちづくり懇談会を開催して市民説明を行ってきた。

- ・現在、策定を進めている第2次まちづくり総合計画に施設の考え方を反映させるため、時間を戻すことはできないが、引き続き、関係団体と丁寧な協議を進めていきたいのでご理解いただきたい。

■ご意見 7

- ・士別では、カーリングのオリンピック選手を2人も輩出している。外貨を稼げば施設の維持ができるかもしれない。昨年ごろから外国人が日向スキー場を訪れている。インバウンドへPRする手法やアイデアを市民から吸い上げるなど、可能性を広げる努力をしていただきたい。

■ご意見 8

- ・地域担当職員制度などを活用して、市民一人ひとりの意見を聴取しては。

■回答 8

- ・総合計画の策定に向けて、まずは関係団体と意見交換を重ねているのでご理解いただきたい。

■ご意見 9

- ・興味があり、まちづくり懇談会に参加した。施設の終わりなどの話が多く、まちの終わりを感ずるような説明に感じた。個人的には士別市は魅力が多いと思っている。人口減少は日本全体で進んでいて避けられないが、士別市や市民の生活に愛情をもって施策を推進いただきたい。
- ・翔雲高校の野球部が活躍されたのは指導者が優秀であることが理由。こうした指導者が士別市に残ってもらえるよう努力してほしい。

■ご意見 10

- ・経済基盤が弱体化し、人口が減少するなかにおいて、縮小する施設や維持管理を継続する施設について、バランスを取りながら取捨選択することが大切。渡辺市長や市の幹部が中心となって必要な施設は存続していただきたい。

■ご意見 11

- ・士別市の過疎地域持続的発展計画では、9「教育の振興」の分野においてスポーツに関する取り組みのなかで、「スポーツに親しむ・関わることで、生きがいや暮らしにうるおいをもたらす」と記載がある。この視点を大切にしながら今後の協議を進めていただきたい。